

吉田厚生センター

いよいよ2月着工

完成は6月，オープンは9月の見通し

教養部の新しい食堂・厚生施設として完成が待たれる吉田厚生センターは、いよいよ今年2月に着工されます。生協では現在、この吉田厚生センターのプラン検討にとりくむと共に、南部生協会館の拡充、吉田生協会館の改装等、様々な厚生施設の実現運動、改善にとりくんでいます。そこで今回、シリーズで現在生協の施設はどうなっているのか、またどうすれば施設要求実現は可能かといったことを伝えていきたいと思います。

——吉田厚生センターの営業プラン——

吉田グラウンドの南に建設される吉田厚生センターは、昨年春に予算化が実現して以来、プラン検討が組合員の皆さんの間で行われてきました。現在のプランとしては、2階建て1階は定食（1日2種類で日替り、トレイメイクアップ方式でスピードアップします）、趣類中心、2階はカフェテリア方式で、お好みのメニューを組み立てていただくようになります。



料金の支払いは従来と違ったレジ方式でスピードアップ。食器の返却は現在のエスポのように、お盆のまま返していた

生協の厚生施設問題シリーズビラ NO.1

だけるようになります。

また、営業終了後の1階メインホールは、広く組合員のオ々に利用していただけます。教養部にはゼミ室、サークルボックスが少ない現状なので、そういった目的でどんどん利用してもらえます。



——吉田厚生センター実現までの運動——

吉田厚生センター予算化は、これまでの10年間の要求運動の成果として克ち取られたものです。毎年3000～7000の要求署名が集められ、集会にも1000名近くの人々が参加する。これを背景に総長との交渉も行われる。こういった運動があって初めて今回の予算化が実現されたわけです。このように圧倒的多数の組合員の要求が生協に結集し、それを力に運動をすすめていけば施設は実現するのです。今後は政府の推進する臨調路線で、大学関係の予算も削られる中で、南部生協会館の拡充等の運動も行われるのです。したがってもっとも多くの組合員の運動参加が求められてくると思います。

発行 京大生協 We ♥ COOP